

1. 件名：「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構HTTR（高温工学試験研究炉）原子炉施設の地震等に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関するヒアリング（3）」

2. 日時：令和4年8月8日（月）13時30分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官※、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、馬場係員、松末技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 建設部 次長 他5名※

同 大洗研究所 高温工学試験研究炉部 部長 他2名※

同 安全・核セキュリティ統括本部

安全管理部 施設保安管理課 主査※

安全管理部 施設保安管理課 技術副主幹※

統括管理室 研究主幹※

※：テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大洗研究所（北地区）HTTR 原子炉施設 耐震重要施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について（標準応答スペクトルを考慮した地震動による評価）
- ・大洗研究所（北地区）HTTR 原子炉施設 建家基礎下レベルでの地震動評価

について（標準応答スペクトルを考慮した地震動による評価）

- ・大洗研究所（北地区）HTTR 原子炉施設 敷地周辺・敷地近傍の地質・地質構造、津波評価、火山影響評価（評価概要及び許可後の知見の確認）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい。こちら建設部です。まず建設部の方からですね説明させていただきたいと思います。技術部のキリタです。すみませんよろしくお願ひします。
0:00:11	ですねH T T Rについてはね資料 123 とさ、三つありまして、衛藤一つ当たりそんなに長くはならないんですけども、一気に説明してしまった方がよろしいでしょうか、それとも1個ずつ説明でしょうか。
0:00:28	はい一気通貫でお願いします。
0:00:32	はい、わかりました。では一色一通り説明させていただきたいと思います。まず資料1ですけども、H T T Rのですね基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価についてということで、
0:00:44	先日医師ご審議いただきました標準応答スペクトルを考慮した地震動、こちらによる評価をAについてご説明いたします。
0:00:54	めくっていただいて2ページ目がですね本資料の概要となります。
0:00:59	こちらについてですね既許可の評価というものが上の段にありまして
0:01:03	こちらですけども支持する地盤に将来活動する可能性のある断層が認められないこと、あと基準地震動でS s - DへとS s 1から5、こちらの地震力に対して、
0:01:15	滑り安全率、接地圧、傾斜がいずれも評価基準値を満足すること。
0:01:21	あと周辺地盤の変状及び地殻変動に、の影響がないことと、
0:01:25	江藤周辺斜面の影響はないこと、こちらを確認しまして原子炉建屋の基礎地盤は十分な安定性を有しており、施設の安全機能が重大な影響を受ける恐れが、ことがないということ吉川で確認させていただいております。
0:01:39	今回の申請による評価ということで、基準地震動S s 6、追加によります。この地震力に対して、基礎地盤の滑り安全率が接地圧、傾斜がいずれも評価基準値を満足することを確認したのとなりまして、
0:01:53	既許可の内容と、このことから、基礎地盤については十分な安定性を有しており、施設の安全機能が重大な影響を受けることがないということを確認したという、資料の内容となります。
0:02:07	3ページ目目次となりまして資料構成は、このようになっております。
0:02:13	5ページ目に行ってくださいましてまず評価方針となります。こちらですね既許可の申請と内容としては同じとなりまして、今回資料に対して就かせん。
0:02:25	ですねこちら過失部分をですね破線で表現しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	まず基礎地盤についてですね1歩II-A、
0:02:34	将来の活動する可能性のある断層についてはこれについては既許可でA評価にて確認済みと、今回申請する内容の地震力に対する基礎地盤の安定性評価と、
0:02:43	この(2)の2ポツ(2)の方ですね、液状化に対してですけども、継続の恐れがないことを確認することは菊川の評価にて確認済みとなっておりますけど、ちょっと※1ということで下の一番下のところですね。
0:02:57	参考としまして液状化の可能性検討結果というのは参考資料4に示しております。後程ご説明します。
0:03:04	基礎地盤の3ポツ、周辺地盤の変状1億円増の影響評価、こちらについても、駅区間の評価にて確認済み。
0:03:12	周辺斜面の影響についても、聞くA評価にて確認済みとなりまして、この2ポツ(1)の内容ですね、こちらについて説明するという内容となります。
0:03:21	6ページ目が評価項目となりまして、先ほどご説明しました、基準時資料6によります、基礎地盤の安定性評価として、滑り安全率、接地圧、傾斜、
0:03:33	こちらがそれぞれ評価基準値を満足するという内容を確認するとなります。
0:03:39	7ページ目評価対象施設と評価条件、個性については既許可内容の申請と同じとなりまして、対象施設としては、原子炉建屋と評価条件解析モデルは、解析用物性値については既許可申請と同じとなっております。
0:03:56	8ページ目と9ページ目基準地震動S <sub>s</sub> について整理したページとなります。
0:04:01	今回ですね次、評価、実施しましたS <sub>s</sub> 6についてはですね8ページ目の表については太枠で強調して表現しております。
0:04:11	9ページ目はそのS <sub>s</sub> の応答スペクトルとなります。
0:04:16	10ページ目からが、本来の地震力に対する基礎地盤の安定性評価ということで、まず11ページ目が滑り安全率の平均強度での結果となります。
0:04:27	今回追加したのが、S <sub>s</sub> 6で青く塗っていると思います。S <sub>s</sub> -DからS <sub>s</sub> 5までが既往の評価結果、こちらについてはですね、
0:04:37	もともと厳しかったものはS <sub>s</sub> -Dによるもので、A断面B断面ともに滑り安全は2.0と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:44	これに対して、今回実施しましたS s6については、2.42. 6ということで、このS6の滑り安全率が最小とならず、許可の評価結果に影響ないということを確認しております。
0:04:58	12 ページ目は、地盤強度のばらつきや埋戻しとの影響を考慮した内容となりまして、先ほどの11 ページ目で示しましたS s-Dいいですね。これ、これについて強度のばらつきは埋め戻しの考慮。
0:05:12	こういったものを考慮しまして、した内容となりますので、評価結果自体は変わりませんが、最初の滑り安全は1.8となっているということです。
0:05:23	13 ページ目基礎底面の接地圧となります。こちらについてもですね、既往の評価ですと、S s-D Aのもの、A断面S s-D、B断面は、S s 2が最も厳しいもので、
0:05:37	今回追加しましたS s6というものは、この評価結果に対して、下回っている。
0:05:42	ということで企業間の評価結果に影響ないということを確認しております。
0:05:49	14 ページ目が基礎底面の傾斜となります。
0:05:53	こちらについてもですね、滑り安全率や、接地圧同様に、
0:05:58	企業の評価ですと、S s-Dのものが、A断面B断面ともに最も厳しく、これに対してですねS L6 評価結果が、
0:06:09	下回るということということで聞かすが、評価結果には影響ないということが確認しております。
0:06:15	15 ページ目はこの評価結果をまとめたものでして、①から③までありまして滑り安全率、接地圧、傾斜ですね、いずれも評価基準を満足することと、
0:06:27	あと許可表の評価結果に影響ないということを確認していくことを記載しております。
0:06:33	17 ページ目が、全体のまとめとなりまして、
0:06:37	大きく結局評価にて確認済みの1 ポツと、
0:06:42	3 と 4、こちらについては記載の通りで今回2 ポツで、今回申請の内容についても、このまとめについては変更がないと、ということを確認しております。以上より、
0:06:53	自治医大の原子炉建屋の基礎地盤は十分な安定性を有しており、施設の安全機能が重大な影響を受けること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:00	ということがないということを確認したということでもまとめております。
0:07:04	18 ページ目以降は参考資料となりましてそれですね、1 から 3 が滑り安全率、接地圧、傾斜についてですね。
0:07:12	S s 6 について、位相反転等の影響を確認したものとなりまして 19 ページ目が滑り安全率。
0:07:20	21 ページ目が、接地圧、
0:07:24	23 ページ目が、経営者と、まとめてデータをまとめております。
0:07:30	24 ページ目からはですね、参考資料でつけて、液状化に関する検討ということで、25 ページ目ですけども、こちらも過去、以前の資料の再掲ですけども、
0:07:40	こちら H T I の基礎地盤についてはですね、簡単に説明しますと建築基礎構造設計指針ですね、こちらで液状化検討対象層の条件①から③、示しておりますけども、
0:07:53	この条件に照らしまして、こちら施設ですね、地盤については、いずれも該当しないということで液状化の恐れはないという形で整理したものととなります。
0:08:03	ですね、
0:08:06	その中でですね参考として実施しました液状化に対する検討結果というものを 26 ページ目と 27 ページ目にまとめておりまして、26 ページ目ですね、7 番。
0:08:18	である I S S はそうですね。こちらについては、実測 N G が 50 以上の密実なさそうであることと、
0:08:24	27 ページ目がですね、
0:08:27	参考として、その補正日と、繰り返しせん断応力比ですね、に基づき液状化の可能性を検討した A となっておりまして、右側のグラフに S s 6 トン。
0:08:38	いう点を、真ん中辺りですね、を追加させていただいております。
0:08:44	以上がですね資料 1 の説明となります。
0:08:48	続いてですね資料 2 の説明に移りたいと思います。こちらですね、建屋基礎下レベルでの地震動評価についてということで、同じく標準応答スペックを考慮した地震動による評価と、をまとめております。
0:09:01	2 ページ目が目次となりまして記載の通りの資料構成となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:08	3 ページ目からが、基礎下レベルの地震動の考え方と、こちら過去の資料の再掲となっております。
0:09:15	今回の検討においては右側の本市における検討という形で、
0:09:19	建屋起草者レベル
0:09:21	より表層ですね、上げておまして、その自由表面はを算出したという内容となります。
0:09:29	4 ページ目から 6 ページ目がですね、解析に用いましたその地盤のモデルを示しております。
0:09:36	こちらの図、こちらもですね、過去の資料の再掲ということで
0:09:41	既許可の評価をそのまま採用して検討したものと返答しております。
0:09:48	7 ページ目 8 ページ目が、基準地震動 $S_s$ ということで、先ほどの資料 1 と同様にですね、今回検討に用いた $S_s6$ を強調する形で資料付けております。
0:09:59	9 ページ目からが、評価結果となりまして 9 ページ目ですね $S_s - D$ から 14 ページ目ですね、節 5 こちらについては
0:10:11	既許可の資料を再掲しております。今回追加したものがこの 15 ページ目の $S_s6$ となりまして、
0:10:18	基礎下レベルの地震動ということで、左側がですね、加速度時刻歴は系と、
0:10:24	右上が疑似速度応答スペクトルということで、破線で示したものが基準地震動に対して今回基礎下レベルの地震動は、実線のものとなります。
0:10:35	右下もの、右下のグラフは、最大加速度分布や最大ひずみ分布を、
0:10:41	他の地震と同じような形で記載しております。
0:10:46	16 ページ目が、この資料のまとめということで、機記載内容としましては過去の資料の再掲ではあるんですけども、基礎下レベルでの地震動等価線形解析の時、評価しましたと。
0:10:59	第 4 紀のですね、東茨城層群、布田ですね久米層に比べて剛性がいわゆる小さいということで、せん断ひずみが大きく最大加速度分布を変動していると。
0:11:10	基準地震動 $S_s$ と建屋基礎下レベルの地震動応答スペクトルを比較しまして、水平成分は、短周期側で基礎下レベルでの地震動が同程度がやや小さくなると。
0:11:22	長石成分長石がですね、大きくなるということを確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:26	一方ですね鉛直成分については全周期体で同程度となると、この結論については、今回S6追加しておりますけども変わってないという考えております。
0:11:38	以上が資料2の説明となります。
0:11:41	続いて資料3ですけども、
0:11:44	敷地周辺敷地近傍の地質地質構造、津波評価、火山影響評価についてですね、評価の概要と既許可後の知見の確認、結果を、
0:11:54	整理したものとなります。
0:11:58	2ページ目この資料の概要となりますけども、
0:12:02	まずですね地盤、地質、敷地周辺敷地近傍の地質地質構造、あと津波評価、火山影響評価についてはですね、既許可ですね、令和2年6月3日ですけども、その後公表されました。
0:12:15	新たな情報について確認しまして、
0:12:17	評価に反映すべき情報があるかを確認を行いましたと。
0:12:21	地盤と、津波についてですね、評価に反映すべき新たな情報はないということで、評価結果に影響はないと。
0:12:29	方についてはですね、新たな情報を踏まえても、評価結果に変更はないと。
0:12:34	ということでこれまでの評価結果に影響しないということを確認しております。
0:12:38	その横にですね中※書きしておりますけども、HTRと同じ敷地にあり、同様の評価を行っている常陽ですね、こちらについてはですね
0:12:49	先月ですね、審査会合において、同じ
0:12:53	し内容を評価結果として提出させていただいているということを記載しております。調査についてはですね次、3ページ以降に示しております、
0:13:05	2ページ目一番最後ですけども今後ですね、この確認した内容を踏まえて補正申請を行いたいと考えているという内容です。
0:13:12	3ページ目以降ですね、ご存知通りあの場においてご説明しまして次の会合でご説明した内容と、基本的に内容は同じです。
0:13:23	常陽地点等をHTR地勢など、若干の見直しは行っておりますけども、本数としては、全く同じですので、説明については
0:13:35	詳細割愛させていただきたいと思います。
0:13:39	以上で資料1から資料3までの説明となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:13:46	はいありがとうございました。
0:13:50	確認、ちょっとすみませんちょっと私からちょっとまず確認なんですけど。
0:13:55	まず
0:13:57	安定性評価の解析条件っていうのは多分既許可のときと同じの条件でやってると思うんですけど、
0:14:05	例えば地下水の設定とかあとその地盤物性ちいの、
0:14:09	パラメータとか同じGでやってると思うんですけど、それ同じってのどっかで説明ありましたっけ。
0:14:17	はい。建設のキリタです。衛藤資料1のですね、
0:14:22	7ページ目。
0:14:24	2、評価対象施設の評価条件を、簡単に記載したページがありまして、
0:14:30	配給期間と同じとするって書いてあるわかりますわかりましたはい。
0:14:36	でも何地下水の設定が書いてないのか。
0:14:41	うん。地下水も入れといてもらっていいですかこれ。
0:14:44	わかりました。で、わかりました。ちょっと追加することか。菅検討しますはいとじゅちょっと図、補足させていただきたいんですけども。
0:14:53	11ページ目と12ページ目ですね、のですね11ページ目の表の下の※書きが幾つかある中の、
0:15:02	五つ目ですね。
0:15:03	平均共同におけるその滑り安全率を評価しまして、
0:15:08	この建屋に対してですね厳しい地震動と角度を抽出するという検討においては、この時は地下水を評価を9.5メートルに設定して解析を実施しているというのをこの11ページ目の
0:15:19	注書きにちょっと追加させ、記載しております。
0:15:22	12ページ目はですね、
0:15:25	強度のばらつき等の影響を見るというところですけどもこれはですね同じく、表の12ページ目の表の下ですね、※3のところ、地下水位を地表面設定して解析を実施ということで、ちょっと、
0:15:35	わかりにくい部分あるので表に
0:15:40	7ページ目に記載したいと思いますけども、現状こういった形でちょっとはい、わかりました。
0:15:46	滑り線の探索の時と
0:15:51	何だ、バラ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:53	保守的に評価しましたってことですね、地下水を地下表面に地表に設定して回収を実施したって2種類に分けてやったってのは、
0:16:01	わかってるんですけどあんまりは
0:16:04	地下水の設定の考え方についても、寄付は申請と同じっていうことは一応、
0:16:09	7ページの方にも記載しておいていただければと思います。
0:16:15	はい。了解しました。
0:16:17	後々ですね滑り線の何だ、
0:16:23	11ページで、滑り安全率の評価結果があって、
0:16:28	想定滑り面形状は1通でこれ多分既許可の評価で評価で、一番その安全率が低い滑り線形状で、
0:16:40	S s 6 でやっても大丈夫ですよっていうことだと思うんですけど。
0:16:44	これ以外の滑り線形状では、S s どこで評価してるんでしたっけ。
0:16:53	これ以外の滑り線の角度についても計算を実施しております。この25動画最も厳しいということを確認してはいます。
0:17:02	私はすべてのパターンでやってるっちゃうことですね。
0:17:06	いうことに理解をしました。
0:17:09	はい。とりあえず私からは以上です。
0:17:13	他に何かあればお願いします。
0:17:22	うん。
0:17:24	まず資料、資料1から何かあれば、
0:17:28	お願いします。
0:17:45	浦田さんのところによる。
0:17:50	はい。私も特になくて先ほど三井さんから質問があった滑り線の検討のところなんですけれども、まとめ資料にはですねある程度の数は入れといていただきたいと思うんですけど全部じゃなくて結構なので、それだけです。
0:18:04	わかりましたのまとめ会合資料の方にはお金も整理して記載したいと思います。
0:18:10	はい。資料1はそういう対応でお願いします。
0:18:14	資料、資料2の方で、何かあればお願いします。
0:18:24	はナガイですけども、これのための確認で聞くんですけども、
0:18:29	いずれの結果もそうだったんですけども、15ページの方で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	せん断ひずみ分布が何メートルなのかな、80 数メートルぐらいのところで、
0:18:41	実は小さくなって大きくなるってのはこれ速度構造によっているという理解でよろしいですか。
0:18:47	これは確認です。
0:18:52	J A 建設部の仲西ですあまり以前同様その礫層の速度構造の違いによるところ、
0:19:00	4 ページで言うと V s が一度 600 ぐらいに早くなってそのあと小さくなってるっていうところの構造が影響しているという、
0:19:09	理解でよろしいですね。
0:19:11	その通りです。
0:19:14	確認だけですので、これ私は結構です。
0:19:19	イワタさん資料 2 の方で何かございますでしょうか。
0:19:22	はい岩田ですけども資料には特にございません。以上です。
0:19:26	はいありがとうございます。資料 3 で規制庁かながわから何かあればお願いします。
0:19:37	ないですけど 2 ページ目の記載で、ちょっとこれ審査会合で私がコメントしたのちょっとハウス、合っていないと思うんですけども、
0:19:49	地盤津波については、は、評価に反映すべき新たな情報はないっていうふうに 2 ポツ目書いてますけど、
0:19:56	これを私は評価の中では参考資料として補正に反映してくださいというコメントをしてるんですが、そのコメントを受けてもこの書きぶりなんでしょうか。
0:20:12	建設部の喜多です。衛藤。
0:20:14	麻痺、この津波評価ですねこちらについては、評価そのものにも反映すべき知見は、上から上がない。
0:20:23	ということで、ちょっとこのような記載にはさせていただいております。
0:20:28	長井さんからのコメントを踏まえましてちょっと再考したいとは思いますが。
0:20:35	先ほど言う審査会后、私が発言したものを
0:20:40	反映すべき新たな情報はないと言ってはなくて、ちゃんと書くべきだということを書いてそのあと内藤からも、ダメージのコメントがあったと思うんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:49	ちょっとこの表現はあまりコメントされて、評価2って書いてあるからなのかもしれないんですけど、適格ではないと思うんでここは日本語をちゃんと書いていただきたいんですけども。
0:21:03	佐瀬憲章機構のタナカなんですけれども、
0:21:05	今回確認させていただいた、
0:21:09	評価なんですけれども、一応その補正書の中に、
0:21:13	反映しようということで、いろいろ検討してみたんですけども、
0:21:18	ちょっと
0:21:20	何て言うんですかね今まで記載して、
0:21:24	三つあったかと思うんですけど、7ページのところに、津波の
0:21:30	概要をまとめてあるんですけども、
0:21:33	していただきますと海洋プレート内の確認と、
0:21:37	あと巨大。
0:21:38	房総半島沖の巨大地震の知見と、あと行政機関による評価の、
0:21:43	知見という三つ、確認しまして、
0:21:47	三つ目の行政機関の方については、補正書の中とか、当審査資料の本編のところの、
0:21:56	5ポツの選定した下の検証のなかーですとか、そこに追加して反映することが、
0:22:03	できるーでそれはやっていきたいと思ってるんですけども、
0:22:08	このアウターライズを例えば公開できた。
0:22:12	評価手法についてですとか、あと房総半島機能、
0:22:16	話については、少し補正書の中に入れるのがなかなか、別途入れたらいいのかっていうのを苦慮してまして、
0:22:24	ちょっと
0:22:27	その方法としては、例えば、本セイシャの本編に入れるというよりは、
0:22:33	津波評価の補足説明資料の方の、
0:22:36	8ポツと書きポツというような、新しく追加しまして、
0:22:42	そこに今回の確認結果をそのまま入れてしまうというのが、
0:22:48	そういうふうに、
0:22:49	整理させていただきたいなというふうに考えているんですけども、
0:22:54	ちょっとその補正書の中に、どうしても
0:22:57	今回の確認結果、今までのその波源選定とか、
0:23:02	評価結果自体に影響してこないものについて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:06	入れ込んでいくっていうのと、
0:23:08	なかなか、
0:23:10	難しいと考えてるんですけどその辺のちょっと考えをお聞かせいただけますか。
0:23:17	私はこの3個参考11知見として入れるべきという言い方をして評価の中身に入れろと言っていないと思うんですよ当日、
0:23:27	ということはあの頭で、もろもろの知見を収集してるわけですからそこに入れるっていう意図で言ってるんですけど、そういうことは全く検討していないってことですか。
0:23:37	少なくともあと房総半島機能はもともと津波堆積物の引用文献って入ってますよね。
0:23:43	許可時の申請書を出します。
0:23:47	許可Gの補正書の中には、ちょっとこの、
0:23:52	房総半島沖の堆積物については、
0:23:55	九十九里浜ということで、堆積物の調査範囲外の情報でして、
0:24:01	補正書の本編には載っていない記載という文献も記載していませんね、ちょっとその補足説明資料の方には整理させていただいてるんですけども、
0:24:11	規制委員会は最初ちゃんと入ってますよ。
0:24:17	提出された細江人見、既許可の補正書を見ていってるんですけど、
0:24:23	ちゃんと入ってますよ、文献。
0:24:26	平知久 2016 くらい入っているって書いてますよね。
0:24:31	そこ2書き込めばいいんじゃないですかうまく。
0:24:36	うん。これ以上はもう言いませんけど、
0:24:40	少なくとも評価に反映すべき新たな情報という評価っていう評価の意味がわからない。
0:24:51	そこはちゃんと会合のコメントを踏まえて直していただきたいんですけども。
0:24:59	原子力のセシムです申し訳ありません。今のちょっと議論を踏まえた資料の記載は修正させていただきます趣旨としてはきちんと文献として見ましたと。
0:25:10	いうところを宣言して、ただその、その
0:25:14	を踏まえてもその

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:16	評価、津波の全体の高さについて関しては影響がないという、仕切りだと思しますのでちょっとそこを明確にわかるようにした上で資料を修正します。また補正書についても今、
0:25:30	言ったようにシステムはまず文献としてはきちんと見ているのと、試験としては、承知した上で
0:25:35	それを踏まえてどう評価するかというのは評価の中で書きますが結果としては変わらなかったという、
0:25:42	ことかなと思いますのでちょっとそこもいっばいいただいた議論を踏まえてちょっと修正したいと思います。
0:25:48	はい、長井ですセシモさんのおっしゃる通りだと思いますので、そのような方向で、会合のコメントを踏まえて、私だけであって、内藤からのコメントを踏まえて書いてください。よろしく。よろしくお願いします。
0:26:03	イワタですけどいいですか。
0:26:07	どうぞお話申し上げたと思うんですけども行政機関による評価による知見っていうのは、これは比較対象になるので本体に今も入ってますけど入れといてくださいねっていうことで、
0:26:18	補正の中に綺麗に入り込めるんだと思っていますと、あとまずはアウトライズについてはもう単純にこれはもう一つの知見として見ましたということだけなんで参考文献のところに書いときゃいいんじゃないかということと、
0:26:31	あと一方房総半島沖の巨大地震に関する知見についてはですね、産総研が出してるということもあるので、せっかく資料も作っていただいたんですねこれは本体という本体ってごめんなさい、補正の中では引用文献ぐらいでいいんじゃないかと思えますけれども、
0:26:46	まとめ資料の中補足でもいいのかもしれませんがそういう中に入れ込んでいただくとうようなイメージだと思うんですけどね。
0:26:53	0でよろしいですかね。
0:26:56	はい。原子力を整理します。ありがとうございますそのイメージこちらの方も資料を修正したいと思います。
0:27:03	はい。よろしくお願いします。
0:27:14	はい。
0:27:18	谷井内容なの多分もう、今言われた資料1と、資料3の一部を修正していた、いただいて、この資料で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:32	会合にかけようと思いますけども、日程なんですけども、8月の26日の金曜日、
0:27:39	の午後、
0:27:42	稟議書。
0:27:46	8月29日の午後で多分1時半からになると思うので、
0:27:52	だから定例で言えばその前の週の金曜日とかルール上は月曜日ですけども19日、19日までに、
0:28:02	資料提出をお願いするような形になりますけども、
0:28:07	そのような形で対応可能でしょうか。
0:28:11	はい。建設部桐田です。そのように提出資料提出準備したいと思います。
0:28:18	はい了解しました。ちょっとすいません1点だけ確認したいんですけど。で、これで多分うちそのまま審査会合で量になればうちの審査の部分は量になるんですけど、
0:28:29	ちょっともう一つ耐震設計方針という話が、
0:28:33	ありましてですね基準地震動は変わることによって、耐震設計方針がどうなるかっていうのは一応
0:28:41	確認しなきゃいけないんじゃないかなちょっとうちのちょっと所管ではなくてちょっと施設がなっちゃうんですけど、そこも確認しなきゃいけないんじゃないかなって思うんですけど何かその辺で施設側から、
0:28:53	話し合ったりしますか。
0:29:00	減収機構の言い訳です。施設側からは今特には伺ってはございません。以上です。
0:29:10	了解しましたちなみにこれ基準地震動が追加となることによって耐震設計方針が変わるとかっていうことはないですよ。
0:29:20	原子力機構のイイガキです。はい。方針自体は変わることはございません。
0:29:25	はい了解しとりあえず状況は了解しました。
0:29:33	説明時間な。
0:29:34	それちょっとあの当時通のう説明時間って何分ぐらいですかね。
0:29:46	江藤今度1から3まで合わせて、10、
0:29:51	程度30分から15分ぐらいかなと思ってます。はい。あれしか25分ということにしましょうかね。説明時間15分でお願いします。
0:30:02	すいません、HTTR品だけですからよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:06	はいはいどうぞはい。
0:30:08	一つ確認なんですけども、今までは、補正申請を行った後に審査会合っていう流れでやってきたんですが、今回は補正申請はそのあとでよろしいという理解でよろしいでしょうか。
0:30:41	すいませんイワタですけれどもそこは個人的にあまりこだわらないので今回ですね、新しいその知見に対する反映ということと、あとは他でもですねすでに標準応答スペクトルの話というのは聞いてますんで、そこは
0:30:54	特に必要があればですね、補正をもらってから再度やるかもしれませんが、市がなければやらないと、そういうことでいいんじゃないかと思います。以上です。
0:31:02	はい、承知いたしました。
0:31:05	ほかになれば以上で、ヒアリングは、
0:31:09	添1の方は終わりにしたいと思いますありがとうございます。
0:31:14	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。